

令和３年度進行管理・評価シート
高梁市歴史的風致維持向上計画（第２期）（令和３年３月２９日認定）
（最終変更 令和４年３月２４日）

□進捗評価シート(様式１)

①組織体制(様式１－１)	
１ 関係各課との連携	１
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式１－２)	
１ 景観計画等との連携による良好な景観の形成	２
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式１－３)	
１ 高梁市歴史的町並み保存地区整備事業	３
２ 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	４
３ 郷土資料館保存修理事業	５
４ 史跡備中松山城跡記念物保存修理事業	６
５ 旧吹屋小学校校舎保存修理事業	７
６ 旧広兼家住宅保存修理事業	８
７ 吉岡銅山遺跡調査事業	９
８ 松山踊り保存伝承活動推進事業	１０
９ 備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業	１１
１０ 吹屋地区道路美装化事業	１２
１１ 城山ウォーキングコース整備事業	１３
１２ 旧吹屋小学校周辺整備事業	１４
１３ 古民家再生事業	１５
１４ 日本遺産推進事業	１６
１５ 歴史と文化の普及啓発事業	１７
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式１－４)	
１ 文化財の保存又は活用、文化財の修理	１８
２ 文化財の保存・活用を行うための施設	１９
３ 文化財の保存及び活用の普及啓発	２０
４ 文化財の防災、埋蔵文化財の取扱、文化財の 保存・活用に関わっている住民、任意団体など 各種団体の状況及び今後の体制整備	２１
⑤効果・影響等に関する報道(様式１－５)	
１ 保存修理進む高梁・旧吹屋小 木造校舎の 威容再び 他	２２
⑥その他(効果等)(様式１－６)	
１ 観光客数(主要文化財対象者数)の推移	２３

□法定協議会等におけるコメントシート(様式２)	２４
--------------------------------	-----------

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
関係各課との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	計画の実施にあたっては、「高梁市の歴史と伝統等を生かした文化のまちづくり連絡会議」において、計画の推進、連絡調整を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
日本遺産・歴まち推進室が中心となって、関係課と連携を図り各事業を進めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	第2期計画の事業の円滑な実施に向けて、関係課の一層の連携を図り、取り組みを推進していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
【庁内組織】 ・機構改革に伴い、「高梁市歴史と伝統等を生かした文化のまちづくり連絡会議」の組織改編を行った。 (旧) 令和2年度 組織図 会 長：政策監 副会長：総務部長、産業経済部長、 市民生活部長、教育次長 委 員：日本遺産・歴まち推進室長、 農林課長、観光課長、建設課長、 都市整備課長、市民課長、 有漢地域局長、成羽地域局長、 川上地域局長、備中地域局長、 教育委員会社会教育課長 [事務局：観光課 日本遺産・歴まち推進室] ➡ (新) 令和3年度 組織図 会 長：政策監 副会長：総務部長、産業経済部長、 <u>土木部長</u>、市民生活部長、 教育次長 委 員：日本遺産・歴まち推進室長、 農林課長、観光課長、 建設課長、<u>西部土木事務所長</u>、 都市整備課長、市民課長、 有漢地域局長、成羽地域局長、 川上地域局長、備中地域局長、 教育委員会社会教育課長 [事務局：日本遺産・歴まち推進室] ・事業担当課と随時協議しながら事業を推進した。 (関係課) 日本遺産・歴まち推進室、教育委員会社会教育課、観光課、成羽地域局、 建設課、都市整備課、西部土木事務所 【法定協議会】 ■高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会 開催日(書面会議による意見聴取期間)：5月11日～5月25日 主な議事：令和2年度 計画の進行管理・評価について 開催日：3月22日 主な議事：令和3年度 計画の進行管理・評価について  高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
景観計画等との連携による良好な景観の形成		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	重点区域内の文化財周辺については、その大部分が高梁市景観計画に基づく自然緑地景観形成ゾーン、歴史的町並み景観形成ゾーン、駅周辺景観形成ゾーンもしくは、主要眺望地点に定められている。 高梁地区重点区域においては、都市計画法による奥万田地区地区計画を定めており、建築物などの形態または意匠、高さの制限や、屋外広告物の規制など、文化財の周辺景色としてふさわしい地域となるよう規制が行われている。 吹屋地区重点区域は、吹屋中心部を重要な景観とその背景を保全するための眺望地点に指定し、周辺の山並みと一体となった調和した景観の維持及び向上を図るため、大規模建築物などの規制を行っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年に策定した高梁市景観計画に基づく届出がある場合、景観審議会において景観形成基準に対する適合性を審議している。令和3年度は、17件の届出があり、そのうち景観形成重点地区内の建築物については8件の届出があった。 また、都市計画道路「南町近似線」「下町薬師院線」の未整備区間550mについて、市街地形成機能および防災・減災機能向上を目的に整備するため、JR西日本をはじめ関係機関との協議により、JR伯備線の交差部や道路幅員の見直しを行うこととし、都市計画法に基づく都市計画決定の変更手続きを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
■高梁市景観審議会 開催日：3月22日 主な議事：令和3年度 高梁市景観計画及び景観条例に基づく届出実績報告 高梁認定こども園舎・高梁消防庁舎の新築について		 高梁地区重点区域内において整備が計画されている高梁消防庁舎の基本設計パース	
■高梁市都市計画審議会 開催日：2月15日 主な議事：高梁都市計画道路の変更について 高梁市立地適正化計画について		 高梁都市計画道路の変更 新旧対照図	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
高梁市歴史的町並み保存地区整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成22年度～令和12年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的な町並みを保存し後世に伝えていくため、城下町の面影を残す路線を歴史的町並み保存地区とし、その沿線の建築物等を対象物件として、市が定める条件にあった歴史的に価値がある建造物や住宅等の外観を、保存修理または修景をする者に対して一定の補助をする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
城下町の面影を色濃く残す本町や石火矢町、紺屋川筋など、高梁市景観計画に定める景観形成道路を対象地区として、伝統的家屋等の保存修理や修景に対する補助を行っている。令和3年度は、歴史的建造物等の保存修理4件、修景2件に対して補助を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		人口減少等の影響もあり、歴史的な町並みにある家屋は老朽化による取り壊しや空き家が見られるようになってきている。制度の一層の周知や住民意識の醸成を図り、歴史的町並みの存続に努める必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

●駐車場の塀修景(中之町)



●門の屋根修理(石火矢町)



●旧商店建物の外観修理(本町)



項目		評価対象年度	令和3年度			
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成22年度～令和12年度					
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業補助金					
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区に選定されている吹屋地区の歴史的風致を継承していくため、伝統的建造物の保存修理等に対する支援を行う。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
高梁市吹屋重要伝統的建造物群保存地区の傷みが激しくなってきた伝建家屋を順次整備していくことで、歴史的風致の維持向上を図った。令和3年度は、2件の保存修理・修景を行うとともに、2件の小修繕を行った。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	施主の高齢化により改修への意識が低くなってきているが、吹屋町並保存会と連携し、引き続き、意識の高揚を図る。					
状況を示す写真や資料等						

《実施した建造物》

●べんがら屋



●松浦家



		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
郷土資料館保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	高梁市郷土資料館(市指定重要文化財(建造物)・旧高梁尋常高等小学校本館)は、平成23～24年度に建造物の調査を実施し、調査報告書を作成しているが、これまでに本格的な保存修理は実施されておらず、全体的に傷みが進行してきているため、将来的な保存に向けて、修理の必要箇所を再度検討しながら、保存修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は、令和4年度に計画している高梁市郷土資料館(市指定重要文化財(建造物)・旧高梁尋常高等小学校本館)の保存修理のための実施設計業務を市内に所在する文化財に精通した設計業者に委託して実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		文化財の保存修理であるため、文化財の価値を損なわないように保存修理を実施する必要がある。	

状況を示す写真や資料等



建物外観



外壁のペンキ剥離



雨漏りの痕跡(2階講堂の天井)

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
史跡備中松山城跡記念物保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成22年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業補助金		
計画に記載している内容	史跡備中松山城跡は、史跡指定地が8箇所に点在しており、地点ごとにおける整備基本方針によって、保存整備、環境整備を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
大池及び大池周辺の保存整備を長期的に実施する計画であり、令和3年度は6年目である。 大池の池内部の遺構を保護するとともに溜まる水がきれいなものとなるように整備工事を実施した。また整備工事に先立ち池内部の腐葉土の発掘調査を実施するとともに、大池周辺の発掘調査を実施し、池からの水が排水される出口の木樋を確認した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後の発掘調査によって、整備方針を検討していく必要がある。 池内部の水の排水方法について工法を検討する必要がある。	

状況を示す写真や資料等



大池内部 発掘調査前の状況



大池内部 発掘調査後の状況



大池内部 石灰岩砂利敷き詰め状況



《位置図》



大池内部 プラスチック製板敷設状況(竣工)

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
旧吹屋小学校校舎保存修理事業			■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成25年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）		
計画に記載している内容	旧吹屋小学校舎（県指定重要文化財（建造物））の保存修理事業を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27～令和元年度の予定で保存修理工事を行っていたが、構造補強の見直しや既存部材の繕い加工に手間取り、また平成30年7月豪雨災害の影響による職人不足により、やむなく2年間の工期延長を行った。 工期最終年度の令和3年度は、天井・内壁・床等を仕上げ、電気設備工事・機械設備工事・外構工事等を実施し竣工を迎えた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	最終年度であり、あらゆることを詳細に決定する必要があったが、文化財の保存と完成後の活用を踏まえて、そのバランスの中で決定していくように心がけた。		

状況を示す写真や資料等



旧吹屋小学校

高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区



本館全景



本館2階 講堂



本館1階 三間廊下



西校舎 集会室



東校舎 廊下

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
旧広兼家住宅保存修理事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～令和12年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)		
計画に記載している内容	旧広兼家住宅(市指定重要文化財(建造物))を構成するものに焦点をあて、文化財的な価値を後世に継承するために調査し、計画的に保存修理を行っていく。建物の傷みが進行しており、報告書作成までは、これまでも行ってきた建物を守るための緊急的な部分補修を継続する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は、緊急的な部分補修として、経年劣化により腐食箇所が生じていた納屋屋根の瓦葺き替え等の修理を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		建物の傷みが進行していることから緊急的な部分補修を継続しているが、文化財の価値を損なわないように実施する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



旧広兼家住宅 全景



建物配置図



修理前

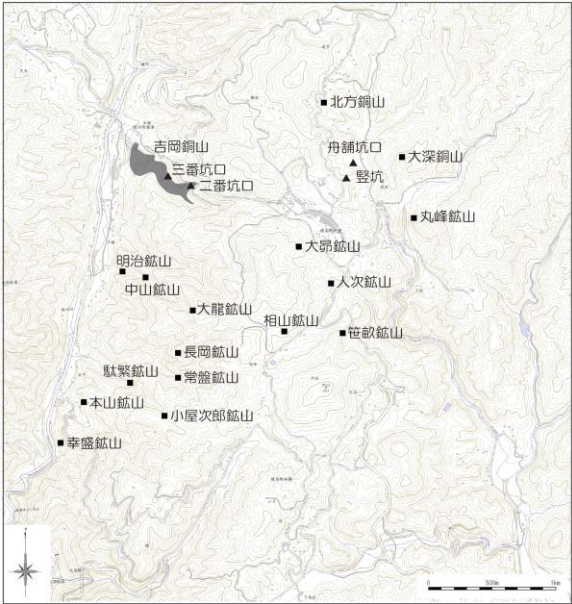


修理後

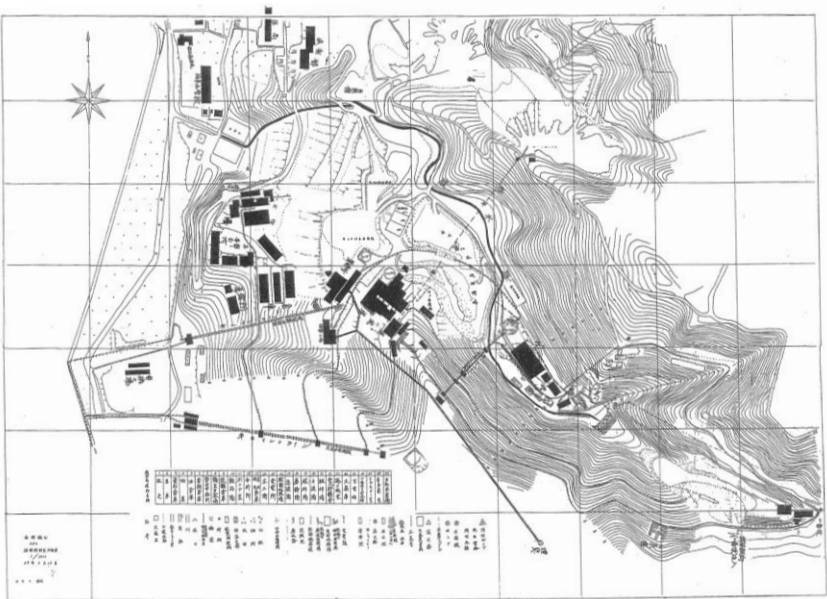
評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
吉岡銅山遺跡調査事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成29年度～令和7年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業補助金		
計画に記載している内容	吹屋地区が銅山と弁柄で栄える礎となった吉岡銅山遺跡に関する発掘調査や文献調査、記録の収集などを行い、歴史的・文化財的な価値付けを行い調査報告書としてまとめる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
吉岡銅山関連遺跡の文化財的な価値付けを行うために、計画的に発掘調査、測量調査、文献調査等を実施している。令和3年度は、選鉱場周辺の遺構の把握のために樹木伐採を行うとともに、精錬所付近の遺構確認のための発掘調査を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		吉岡銅山関連遺跡調査委員会において、今後の調査指針をまとめた。各地に残されている過去の銅山の記録調査を発掘調査を並行して実施する必要がある。	

状況を示す写真や資料等



吉岡銅山と周辺の鉱山



吉岡銅山の建物配置(過去の図面)



吉岡銅山 選鉱場



発掘調査で検出した遺構

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
松山踊り保存伝承活動推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)	
計画に記載している内容	松山踊り(県指定重要無形民俗文化財)を構成する「地踊り」「ヤトサ」「仕組踊り」の音頭や踊りの所作などの保存継承活動をしている団体に対して、保存継承に必要な活動経費と用具の整備にかかる費用について財政的な補助を行い、その活動を支援する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
県指定重要無形民俗文化財「松山踊り」の保存継承活動をしている団体に、用具の整備にかかる費用について補助金を支出することで、保存継承活動の支援を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、祭事等が中止となり、活動を自粛する団体もあり、1団体のみの補助となった。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	団体の担い手が少ないことが要因となり、活動費用の捻出が課題となっており、補助金を活用し継続的な活動ができるように支援を行うことで、活動団体数を維持する必要がある。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、松山踊りが2年連続中止となるなど、近年は保存継承団体の活動規模が縮小・中止となっており、新型コロナウイルスへの対策を講じた上での活動の継続も課題である。	
状況を示す写真や資料等		

補助対象団体	補助額	補助交付実績(市内全域)
市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体	事業費の1/2以内で市長の定める額	49千円 (1団体)



松山踊り音頭保存会 用具整備 (練習用アンプ)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度～令和12年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)	
計画に記載している内容	備中神楽(重要無形民俗文化財)、渡り拍子(市指定重要文化財(無形民俗文化財))の保存伝承育成を行う保存会や育成会が活動する経費と用具の整備に対して財政的な補助を行い、その活動を支援する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
重要無形民俗文化財「備中神楽」、県指定重要文化財「渡り拍子」の保存伝承・育成を行う団体に対して補助金を支出することで、保存伝承、後継者の育成ができるよう支援した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、祭事等が中止となったことから、活動自体を自粛、縮小する団体が多かったが、感染症対策を実施した上で活動した団体も増え、前年度よりも補助団体数は増加した。 ＜令和3年度補助団体数＞ 備中神楽保存団体 2団体、備中神楽育成団体 9団体、渡り拍子伝承育成団体 7団体 用具・衣装等の整備 4団体 計22団体 (事業費1,508千円)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	少子化により担い手が減少しているため、神楽育成団体・渡り拍子保存会ともに補助団体が減少していく可能性が課題として挙げられる。補助金の活用により、継続的な活動ができるよう、支援のPRを行うなど取り組みを実施し、活動を行っている団体数を維持する必要がある。また、新型コロナウイルスへの対策を講じた上での活動の継続が必要である。	
状況を示す写真や資料等		

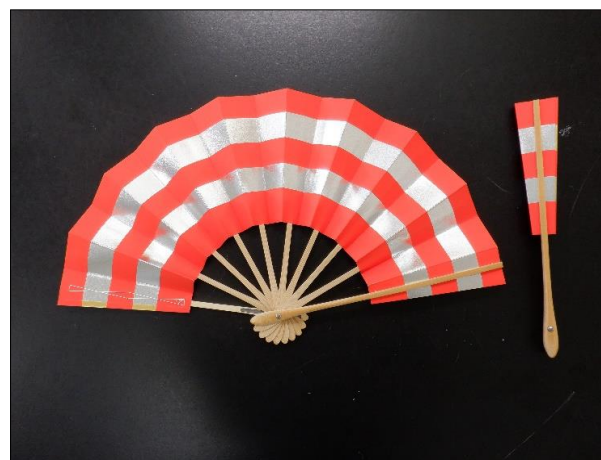
《活動費の補助》

補助対象団体	補助金の限度額	補助交付実績(市内全域)
備中神楽 保存団体	100,000円／1団体あたり 3,000円／会員1人あたり	46千円 (2団体)
備中神楽 育成団体	100,000円／1団体あたり 3,000円／会員1人あたり 3,000円／保護者1家族あたり	1,082千円 (9団体)
渡り拍子 伝承育成団体	10,000円／1カラあたり	130千円 (7団体)

補助対象団体	補助額	補助交付実績(市内全域)
市長が認めた伝統民俗芸能の保存 伝承活動用設備を整備する団体	事業費の1／2以内で 市長の定める額	201千円 (4団体)



渡り拍子 保存伝承活動状況
(今年度活動を再開した吹屋振興会)



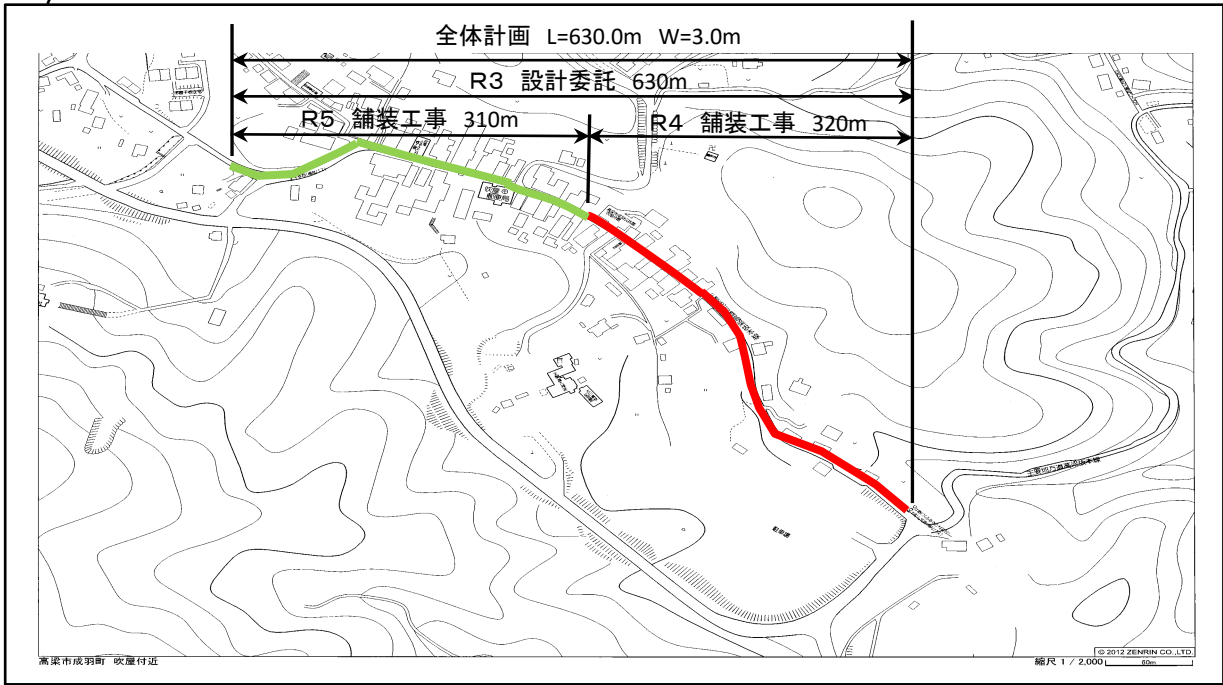
活動用設備の整備(備中神楽 扇)

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
吹屋地区道路美装化事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和5年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区を貫通する道路の舗装の傷みが激しいため道路の美装化を行う。市道吹屋線は、長年の利用で道路表面が劣化し、車両や歩行者の通行に支障をきたしている。また、路面荒廃による飛び石等で、周辺建造物への影響も懸念されるため、舗装工事を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は、令和4～5年度に予定している舗装工事実施に向けた測量設計を行った。(L=630m)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

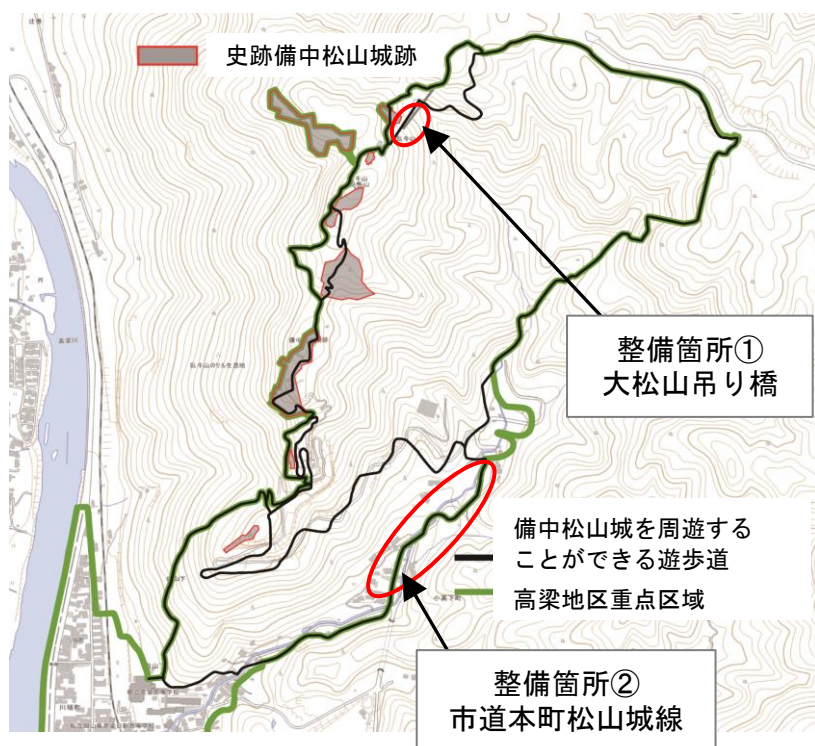


路面の傷みが進んでいる市道吹屋線



整備計画位置図

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
城山ウォーキングコース整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	雲海に浮かぶ備中松山城を望む展望台周辺と、臥牛山を縦走する遊歩道や登城道を、これまでに整備してきた「天神の丸跡」や「大池」を含む8箇所の史跡と合わせて、天守が現存する唯一の山城を回遊するルート全体の環境整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は、設置以来約30年が経過し老朽化が進んでいる大松山吊り橋の木製床板の一部取替修繕を行った。また、路面の傷みが進んでいた市道本町松山城線の舗装工事をを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		回遊ルートは広範囲であるため、関係課の連携を図りながら、計画的に環境整備を進めていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



●大松山吊り橋



吊り橋全景



修繕前

●市道本町松山城線



修繕前



修繕後



修繕後

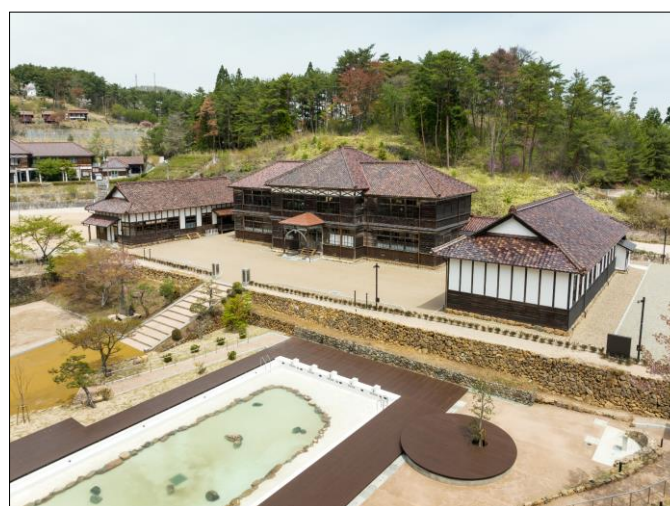
		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
旧吹屋小学校周辺整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街並み環境整備事業)		
計画に記載している内容	旧吹屋小学校校舎保存修理工事の完成時期に合わせて、校舎周辺で必要となる整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は、地域住民と訪れた人々が交流できる場として校舎と一体となった活用が図られるよう、旧吹屋小学校プール跡地を既存の面影を残した親水公園として整備した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		校舎との一体活用を図る交流拠点の一つとして、観光客からの要望も多い町並みを眺望できる場所の整備に向けた調整を進めていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



整備前の旧吹屋小学校プール



親水公園 全景



整備後の親水公園

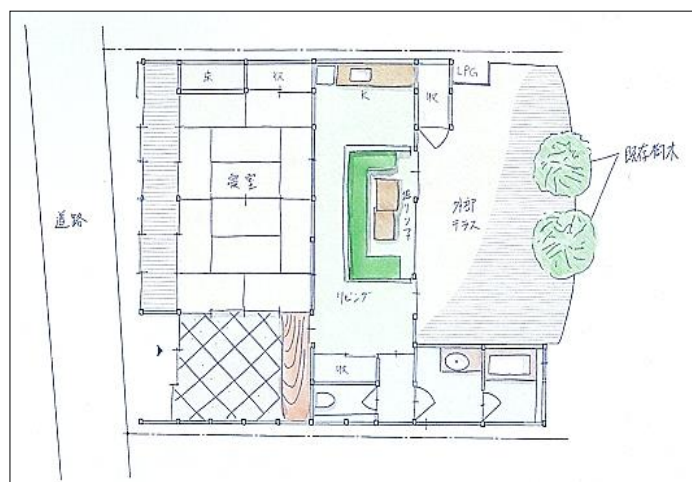
項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
古民家再生事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	吹屋地区重点区域では、重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業により修理・修景補助を行ってきたが、空き家が増加しており町並み景観の維持が困難な状況になっている。交流滞在型の観光ビジネスを構築して地域の活性化と文化の継承、集落の維持再生を図ることを目的に、空き家を改修し1棟貸しの宿泊施設等として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
古民家を再生した1棟貸しスタイルの宿泊施設として平成30年9月にオープンした「町家ステイ吹屋 千枚」の管理運営を行う地元指定管理団体との2棟目整備に関する意向確認など、整備実施に向けての協議、検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で観光客数の落ち込みが続いている中、指定管理団体と2棟目整備後の運営計画等を協議し、整備実施に向けた調整を行っていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



カフェ併設の1棟目施設「町家ステイ吹屋 千枚」



2棟目整備候補となる空き家



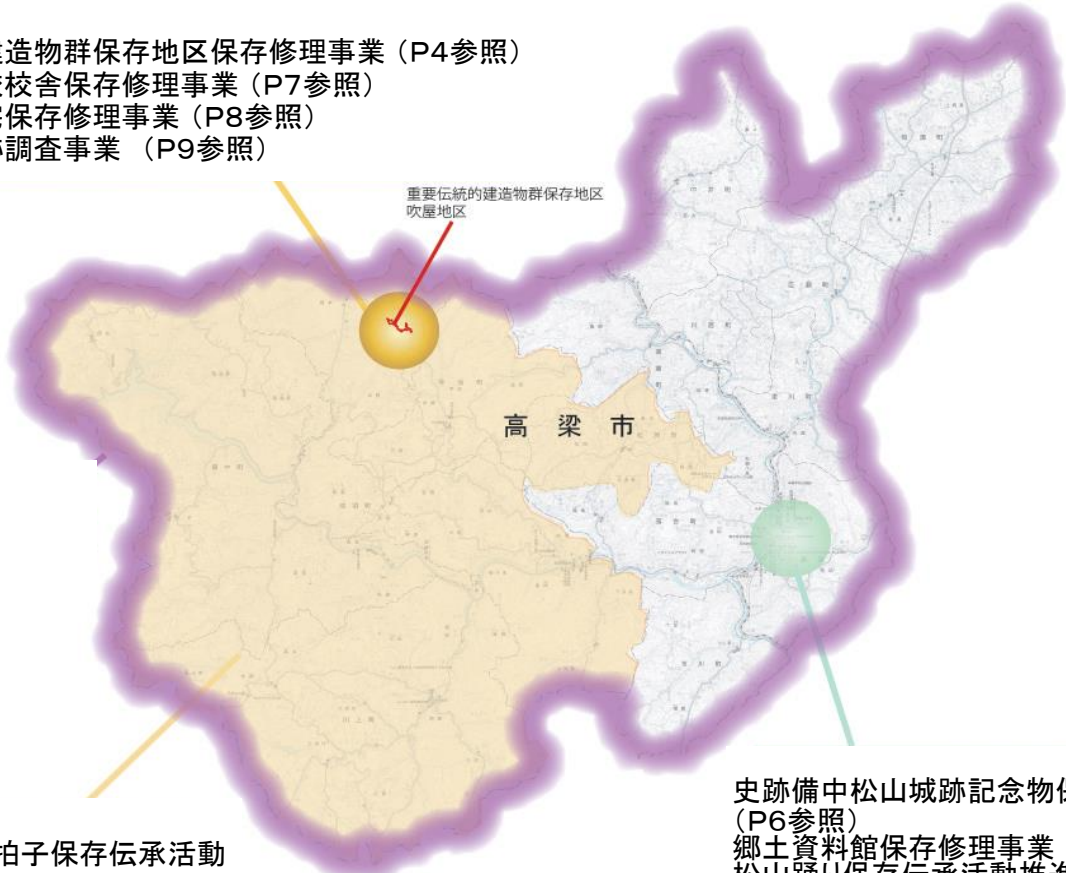
吹屋地域コンセプトプランによる整備イメージ

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
日本遺産推進事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度～令和4年度		
支援事業名	文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)、文化資源活用事業費補助金(観光拠点整備事業)		
計画に記載している内容	「ジャパンレッド」発祥の地として、日本遺産に認定された吹屋地域の関連する歴史文化遺産を国内外に広く発信して交流人口の拡大、地域経済の活性化に繋げる事業を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
日本遺産を通じた地域活性化計画に基づき、令和3年度は次の事業を実施した。 ●普及啓発事業：日本遺産「ジャパンレッド発祥の地」講演会、日本遺産吹屋インバウンド視察ツアー ●調査研究事業：弁柄等関連文献調査 ●情報コンテンツ作成事業：日本遺産専用ホームページ制作、VR映像制作 ●活用整備事業：吹屋連絡所トイレ整備			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による観光客数の落ち込み等の影響も踏まえながら、日本遺産を通じた地域活性化計画の令和5年度からの自立・自走期間に向けて、重点支援期間の計画事業を着実に推進していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
●普及啓発事業  日本遺産「ジャパンレッド発祥の地」講演会 【開催日】12月5日【参加者】150名  日本遺産吹屋インバウンド視察ツアー 【開催日】10月30日～31日【参加者】在留外国人10名 ●調査研究事業  弁柄等関連文献調査 ●情報コンテンツ作成事業  日本遺産ホームページ  銅山経営や町並みができるまでの 景観を再現したVR映像 ●活用整備事業 町並みの中間地点にある吹屋連絡所の旧消防器庫部分を観光客も利用できるトイレとして改修   改修前   改修後			

項目		評価対象年度	令和3年度																		
		現在の状況																			
歴史と文化の普及啓発事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																			
事業期間	平成23年度～令和12年度																				
支援事業名	市単独事業																				
計画に記載している内容	市民が、高梁市全域の歴史や文化、文化財や民俗芸能について関心を持ち、それらに対する意識の向上が図られるよう、歴史セミナー(高梁歴史いろは塾など)を開催する。																				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																					
令和3年度は、岡山県古代吉備文化財センター職員や市職員を講師として、高梁市の歴史や文化を学ぶ歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」を開催したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、一部講座を中止とした。																					
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																				
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で令和2年度は中止とした「高梁歴史いろは塾」を再開したが、一部講座を中止せざるを得なかったため、参集形式によらない方法も含めた開催についても検討していく必要がある。																				
状況を示す写真や資料等																					
●歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」の開催 <table border="1"> <thead> <tr> <th>【開催日】</th> <th>【テーマ】</th> <th>【参加人数】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月20日</td> <td>高梁市内の中世山城</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>12月28日</td> <td>日本を支えた鉱山遺産・吉岡銅山跡</td> <td>39名</td> </tr> <tr> <td>1月22日</td> <td>日本遺産「ジャパンレッド発祥の地～弁柄と銅の町・備中吹屋～」の魅力 ※「高梁市教育講演会」と合同開催</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>2月12日</td> <td>“カムカムおじさん” 平川唯一の生涯について</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>3月5日</td> <td>備中松山藩士芦田家に伝わった戦国時代の古文書</td> <td>28名</td> </tr> </tbody> </table>				【開催日】	【テーマ】	【参加人数】	11月20日	高梁市内の中世山城	30名	12月28日	日本を支えた鉱山遺産・吉岡銅山跡	39名	1月22日	日本遺産「ジャパンレッド発祥の地～弁柄と銅の町・備中吹屋～」の魅力 ※「高梁市教育講演会」と合同開催	中止	2月12日	“カムカムおじさん” 平川唯一の生涯について	中止	3月5日	備中松山藩士芦田家に伝わった戦国時代の古文書	28名
【開催日】	【テーマ】	【参加人数】																			
11月20日	高梁市内の中世山城	30名																			
12月28日	日本を支えた鉱山遺産・吉岡銅山跡	39名																			
1月22日	日本遺産「ジャパンレッド発祥の地～弁柄と銅の町・備中吹屋～」の魅力 ※「高梁市教育講演会」と合同開催	中止																			
2月12日	“カムカムおじさん” 平川唯一の生涯について	中止																			
3月5日	備中松山藩士芦田家に伝わった戦国時代の古文書	28名																			
																					
高梁歴史いろは塾																					

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
文化財の保存又は活用 文化財の修理		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	地域の貴重な財産である文化財を、適切に保護保存し、活用することは、歴史、伝統、文化などを理解する上で不可欠であり、市民の文化に対する意識の向上と発展にもつながるものである。 文化財の修理にあたっては、その価値を維持していくため、現状維持を基本とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●文化財の保存・活用について ・郷土資料館保存修理事業 (P5参照) ・旧吹屋小学校校舎保存修理事業 (P7参照) ・旧広兼家住宅保存修理事業 (P8参照) ・吉岡銅山遺跡調査事業 (P9参照) ・松山踊り保存伝承活動推進事業 (P10参照) ・備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業 (P11参照) ●文化財の修理について ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 (P4参照) ・史跡備中松山城跡記念物保存修理事業 (P6参照)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 (P4参照) 旧吹屋小学校校舎保存修理事業 (P7参照) 旧広兼家住宅保存修理事業 (P8参照) 吉岡銅山遺跡調査事業 (P9参照)  史跡備中松山城跡記念物保存修理事業 (P6参照) 郷土資料館保存修理事業 (P5参照) 松山踊り保存伝承活動推進事業 (P10参照) 備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業 (P11参照)			

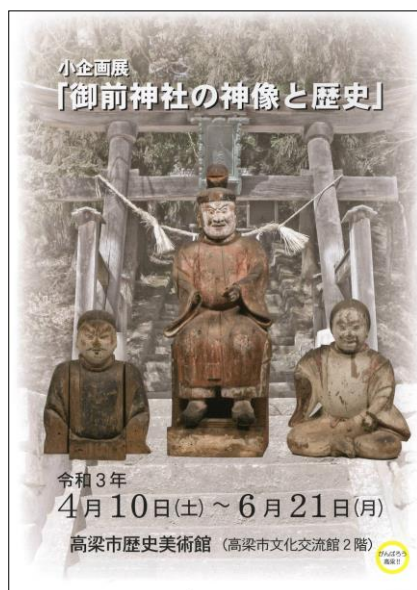
評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財を広く公開することは、保存、活用を図る上で重要なことである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高梁市歴史美術館では、市民をはじめ多くの人に、高梁市ゆかりの文化財や絵画等に親しみ理解を深めてもらう機会とするため、定期的に展覧会を開催している。 令和3年度は、特別展1回と企画展2回を開催し、入場者数は延べ2,626人であった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、臨時休館を行った。新型コロナウイルス対策を十分に講じた上での展覧会開催の必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

●高梁市歴史美術館 展覧会

【期 間】	【展覧会名】	【入場者数】
4月10日～7月5日 (54日間)	小企画展「御前神社の神像と歴史」 常設展「山田方谷の生涯」 ※緊急事態宣言による臨時休館(5月16日～6月9日) 市在住在勤者のみの入館対応(6月10日～6月20日) ※臨時休館実施に伴い、6月21日の会期を7月5日まで延長	285人
7月14日～9月6日 (37日間)	企画展「新収蔵品展～歴美のNEW COMER～」 ※避難所設営のため臨時休館(8月14日) 緊急事態宣言による臨時休館(8月27日～9月6日)	130人
9月18日～3月6日 (140日間)	特別展「カムカムおじさん～平川唯一とラジオ英会話～」	2,205人
3月26日～3月31日 (5日間)	常設展「たかはしの歴史と美術」	6人



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
文化財の保存及び活用の普及啓発		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	各種講座、講演会、発掘調査現地説明会、修理現場公開などの開催を通じ、文化財の周知に努め、文化財保護意識の普及啓発を図る。 また、市民が文化財に親しみ、関心を喚起するよう説明板の整備や文化財の現地説明会などに取り組むとともに、市広報紙やホームページ、SNSにも継続的に文化財に関する情報を掲載するよう心掛ける。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
高梁市の歴史や文化を学ぶ歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」を開催したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、一部講座を中止とした。ほかに地域の歴史について、文化財の特別公開、現地研修などを行った。 また、日本遺産『『ジャパンレッド』発祥の地-弁柄と銅の町・備中吹屋』のストーリーを構成する文化財や、旧吹屋小学校保存修理工事の取り組みを紹介するシリーズ記事を「広報たかはし」に掲載した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス対策を十分に講じた上での講座開催や、その他の手段を用いた啓発活動の推進も図る必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
●歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」の開催 (P17参照) ●地域の歴史を学ぶ ・重要文化財備中松山城二重櫓 特別公開 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、開催できなかった。 ・備中松山城 現地研修 高梁市立高梁小学校、落合小学校、川上小学校、津山市立秀実小学校 高梁市立高梁北中学校、川上中学校、玉野市立宇野中学校 ・高梁市郷土資料館(市指定重要文化財・旧高梁尋常高等小学校) 現地研修 高梁市立高梁小学校、川面小学校、成羽小学校、倉敷市立倉敷西小学校 高梁市立高梁中学校、高梁北中学校、有漢中学校、成羽中学校、吉備高原学園高等学校 ・山城跡 現地解説 常山城跡、備中松山城跡 ・城下町 現地研修 玉野市立宇野中学校 ・山田方谷記念館 現地研修 高梁市立高梁小学校、川面小学校、落合小学校、成羽小学校、津山市立秀実小学校 高梁市立高梁中学校、高梁北中学校、有漢中学校、成羽中学校、川上中学校、吉備高原学園高等学校 ・備中松山城でのイベント 岡山県子ども大会(岡山県子ども会連合会) ●「広報たかはし」への記事掲載 ・シリーズ「ジャパンレッド」発祥の地-弁柄と銅の町・備中吹屋- (4月号～3月号) ・シリーズ「旧吹屋小学校校舎」平成～令和の大修理！-令和4年4月一般公開への道のり (11月号～3月号)  岡山県子ども大会にて お駕籠を活用した記念写真		
  「広報たかはし」掲載記事		

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
文化財の防災 埋蔵文化財の取扱 文化財の保存・活用に関わっている住民、任意団体など各種団体の状況及び今後の体制整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	消防署と連携し、防火施設や消火設備に対し、助成を行うなど適正な管理を促すとともに、所有者などに対し、定期的な消火訓練などを促し防災体制の強化に努める。 開発にあたっては、事業者に対して事前に協議を行うように指導し、可能な限り包蔵地を回避し、保存するよう働きかけていく。 必要な情報提供を行うとともに人材育成を図り、行政と市民との協働による文化財の保存、活用につながるような体制の整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財防火デーにあわせて、市内の指定重要文化財について、防火査察を行うとともに、消火訓練を行った。また文化財の所有者に対し、防犯、傷付け事案の発生に対する注意喚起を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		世界的な文化財の火災等を受けて、地域住民の文化財等に対する防災意識が高まっているが、引き続き啓発を行うとともに、文化財に対する理解も深めてもらう必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
●1月26日の文化財防火デーに、高梁市消防本部が教育委員会とともに、国指定・県指定・市指定の重要文化財(建造物)の防火査察を行った。 また、重要文化財における消防設備点検に合わせて、設置している消防設備の使用方法について訓練を行った。 ●吹屋町並保存会が主体となり、放水訓練を実施した。  旧片山家住宅での消防訓練  備中松山城での消防訓練 ●開発にあたり、教育委員会に事前の照会が35件あり、埋蔵文化財包蔵地について文化財保護法第93条の届出が16件(工事立会16件)、第94条の通知が3件(工事立会3件)であった。 ●川面町において地元団体が自主的に寺山城の整備を行っており、教育委員会が指導した。 また、有漢町において、常山城跡の整備を始めるにあたり、教育委員会が指導した。  寺山城			

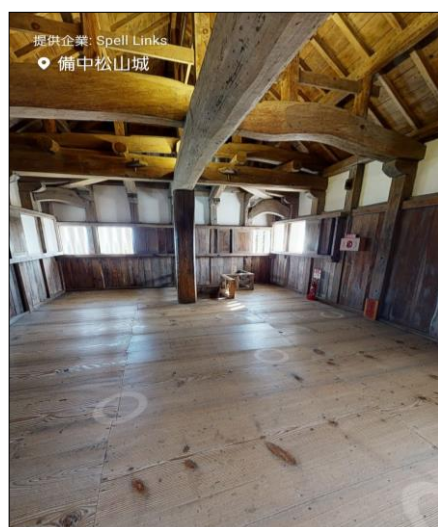
報道等タイトル		評価対象年度	令和3年度
年月日		掲載紙等	
保存修理進む高梁・旧吹屋小 木造校舎の威容再び		令和3年4月1日	山陽新聞
高梁・御前神社で発見 壁一面 災害伝える墨書		令和3年5月16日	山陽新聞
日本遺産認定1年「ジャパンレッド」発祥の高梁市 おもてなし態勢を強化		令和3年5月23日	山陽新聞
明治初期から戦前大福帳の一部 高梁・池上邸ふすま下張りから発見		令和3年6月29日	山陽新聞
「ジャパンレッド」PR 高梁市推進協議会 本年度8事業決定		令和3年7月2日	山陽新聞
松山踊り 動画での出演呼び呼び掛け 高梁市観光協会、中止受けて募集		令和3年7月28日	山陽新聞
高梁市教育委員会 宇喜多秀家の新書状発見 13歳で家臣団掌握示す		令和3年8月11日	山陽新聞
秀家の新発見書状説明 備中松山城藩士・芦田家子孫から寄託		令和3年8月25日	山陽新聞
高梁で自転車ヒルクライム代替催し 朝霧の山道50人力走(吹屋ふるさと村)		令和3年10月4日	山陽新聞
高梁のゆかり2神社に松山踊り奉納 実行委員会「来年こそ大勢で」		令和3年10月15日	山陽新聞
県教育特別功労者 安田校長ら3人(松山踊り保存会受賞)		令和3年10月30日	山陽新聞
高梁・吹屋ふるさと村「花めぐり」べんがら家並みに生花		令和3年11月2日	山陽新聞
山田方谷の功績動画でPR 高梁市教育委員会専用サイト開設		令和3年11月5日	山陽新聞
備中文化、町並み触れて 体験やまち歩き30事業(吹屋)		令和3年11月11日	山陽新聞
吹屋玄関口空き家を交流拠点に 青年団高梁高生と改修		令和3年11月25日	山陽新聞
東京ホテイソン・たけるさん(高梁出身) 備中神楽軽やかに 東京「高梁館」5周年催し		令和3年11月28日	山陽新聞
備中松山城と雲海をライブ中継 県外観光客に魅力PR		令和3年11月30日	山陽新聞
天空の天守 年の瀬輝く 備中松山城すす払い		令和3年12月21日	山陽新聞
国重文天守と二重櫓 備中松山城内を“探索” 高梁市 VR映像をHP公開		令和4年1月4日	山陽新聞
文化財 火災から守って		令和4年2月1日	山陽新聞
吉備を環る～高梁基督教会 今も輝く新島襄の教え		令和4年2月12日	山陽新聞
吉備を環る～備中神楽 社中の絆 コロナ禍祓う		令和4年2月15日	山陽新聞
吉備を環る～トロッコ道 誘致夢見た伯備線幻に		令和4年2月17日	山陽新聞
吉備を環る～伝統を継ぐ 吹屋を守る住民の覚悟		令和4年2月23日	山陽新聞
猫城主さんじゅーろー“鎮座” 石像ベンチ登場 備中松山城		令和4年2月26日	山陽新聞
備中松山城まで楽々 高梁市観光協会 電動スクーター貸し出し開始		令和4年3月5日	山陽新聞
吹屋の日本遺産 漫才交えPR 東京ホテイソン案内 高梁市推進協議会 映像制作、来月公開		令和4年3月8日	山陽新聞
高梁・旧吹屋小木造校舎保存修理が完了 住民ら記念式典 来月21日公開開始		令和4年3月10日	山陽新聞
町家彩るひな人形 来月3日、高梁・本町地区でまつり		令和4年3月31日	山陽新聞
長州藩士・久坂玄瑞と木戸孝允 山田方谷への協力依頼書状公開 高梁の記念館 交友関係広さ示す		令和4年3月31日	山陽新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

備中松山城や旧吹屋小学校、日本遺産認定の吹屋地区を中心に、文化財を活用したイベントや文化財の保存・保護に向けた取り組みが数多く報道された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



備中松山城天守内部を紹介するVR画像

旧吹屋小学校校舎保存修理工事竣工記念式典
(3月9日開催)

評価軸⑥-1 その他(効果等)																																																																		
評価対象年度 令和3年度																																																																		
項目																																																																		
観光客数(主要文化財来訪者数)の推移																																																																		
計画に記載 している内容																																																																		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																																																																		
平成30年7月豪雨災害後に回復傾向にあった観光客数(主要文化財来訪者)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で落ち込んでおり、令和3年度も緊急事態宣言による施設の臨時休館・休城対応等の影響もあって回復までには至らなかった。																																																																		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																																																	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	新型コロナウイルス対策を十分に講じながら、関係機関が連携して来訪者数の回復に向けた取り組みを進めていく必要がある。																																																																	
状況を示す写真や資料等																																																																		
主要文化財 来訪者数の推移 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>合計</th><th>備中松山城</th><th>頼久寺庭園</th><th>旧片山家住宅</th></tr></thead><tbody><tr><td>22年度</td><td>67023</td><td>34515</td><td>19983</td><td>12525</td></tr><tr><td>23年度</td><td>72539</td><td>42008</td><td>19477</td><td>11054</td></tr><tr><td>24年度</td><td>73603</td><td>43030</td><td>18986</td><td>11587</td></tr><tr><td>25年度</td><td>76598</td><td>50862</td><td>15948</td><td>9788</td></tr><tr><td>26年度</td><td>100041</td><td>72068</td><td>19002</td><td>8971</td></tr><tr><td>27年度</td><td>125556</td><td>94439</td><td>21441</td><td>9676</td></tr><tr><td>28年度</td><td>139649</td><td>106166</td><td>21859</td><td>11624</td></tr><tr><td>29年度</td><td>114163</td><td>86625</td><td>19468</td><td>8070</td></tr><tr><td>30年度</td><td>97769</td><td>73290</td><td>17298</td><td>7181</td></tr><tr><td>元年度</td><td>125744</td><td>99267</td><td>18363</td><td>8114</td></tr><tr><td>2年度</td><td>63572</td><td>51467</td><td>7332</td><td>4773</td></tr><tr><td>3年度</td><td>60918</td><td>45909</td><td>7827</td><td>7182</td></tr></tbody></table>		年度	合計	備中松山城	頼久寺庭園	旧片山家住宅	22年度	67023	34515	19983	12525	23年度	72539	42008	19477	11054	24年度	73603	43030	18986	11587	25年度	76598	50862	15948	9788	26年度	100041	72068	19002	8971	27年度	125556	94439	21441	9676	28年度	139649	106166	21859	11624	29年度	114163	86625	19468	8070	30年度	97769	73290	17298	7181	元年度	125744	99267	18363	8114	2年度	63572	51467	7332	4773	3年度	60918	45909	7827	7182
年度	合計	備中松山城	頼久寺庭園	旧片山家住宅																																																														
22年度	67023	34515	19983	12525																																																														
23年度	72539	42008	19477	11054																																																														
24年度	73603	43030	18986	11587																																																														
25年度	76598	50862	15948	9788																																																														
26年度	100041	72068	19002	8971																																																														
27年度	125556	94439	21441	9676																																																														
28年度	139649	106166	21859	11624																																																														
29年度	114163	86625	19468	8070																																																														
30年度	97769	73290	17298	7181																																																														
元年度	125744	99267	18363	8114																																																														
2年度	63572	51467	7332	4773																																																														
3年度	60918	45909	7827	7182																																																														

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会	
会議等の開催日時:令和4年3月22日	
(コメントの概要) ・7年にわたる旧吹屋小学校校舎保存修理工事が今年度で完了となったが、今後の活用方法等の予定はどうか。 ・旧吹屋小学校整備工事については、学校周辺に駐車場の整備も行うのか。 ・高梁地区と吹屋地区の2カ所の重点地区は距離が離れており、吹屋地区へのアクセスは車での移動が前提となっていると思われる。第2期計画の取組方針には、「滞在型観光の充実」を新たに加えたとのことであるが、例えば鉄道利用者等の吹屋地区へのアクセス手段は何か対応を検討しているのか。 ・第2期計画では、民俗芸能の保存継承にもさらに力を入れていくということであるが、歴史的風致の維持向上にはハード整備ばかりではなく、ソフト面の取り組みも欠かせない。長引くコロナ禍で、民俗芸能の保存継承活動をはじめするさまざまな事業に支障が生じていることがうかがえる。今はアフターコロナを見据えた種まきの時期として、行政と地域住民、また民間事業者が一体となって取り組みを進めていってほしい。	
(今後の対応方針) ・4月21日の一般公開開始に向けての準備を進めているところである。旧吹屋小学校は、文化財建造物であることはもちろんのこと、吹屋地区の観光拠点ともなる施設である。一度見学したら終わりではなく、リピーターを増やしていきたいと考え、民間組織ならではの発想力や企画力を取り入れるため、4月からの施設の管理運営は一般社団法人高梁市観光協会に指定管理をお願いしている。かつて学校であったことを踏まえ、「学びの時間、遊びの時間」をテーマにイベント等を開催し、何度でも訪れたくなる仕掛けづくりを行っていきたい。また、今年度の日本遺産推進事業で制作したXR映像を活用した体験コンテンツも準備中である。なお、令和4年度事業として、本館1階の東西教室部分に日本遺産のガイダンス施設を整備する。 ・プール跡地を活用した親水公園整備に合わせて、学校周辺には数台分の障がい者用駐車場を整備している。一般の観光客には、ある程度広さを有する下町駐車場に駐車いただき、町並みの中を歩いて旧吹屋小学校まで歩いてもらう誘導ルートで考えている。グラウンドに駐車場を整備するという案も当初あったが、町並みへの観光客の流れが生まれることも必要であるので、地元協議の上で下町駐車場の活用ということになった。グラウンドは以前のように地元行事でも利用いただけるが、現状として利用は少ないとも聞いており、団体客のバス駐車場といったことも含めて、活用方法については今後さらに検討していきたいと考えている。 ・二次交通は以前からの課題であったが、このほど誘致が整い、昨年12月、JR備中高梁駅前にレンタリース店舗がオープンし利用客も増えている。新年度事業として、岡山空港から吹屋地区への直行バスを計画しており、今後のインバウンド需要の回復を見据えた準備を進めているところである。また、吹屋地区内も広範囲であるので、観光客に地区内を周遊いただくためのグリーンスローモビリティの運行や、民間事業者によるEVトライクの導入も予定されており、旧吹屋小学校オープンに向けて、少しずつではあるがアクセス面での整備を進めている。 ・新型コロナウイルスへの対策を十分に講じながら、各種事業の着実な推進に向けて、関係機関の連携を図りながら取り組んでいきたい。	